



生活と環境

生活環境課：0869-22-1899
リサイクルプラザ・ぶく：0869-22-3707
開館日 月・水・金・土
開館時間 9:00~16:00

年末年始のごみ収集日程を お知らせします



年末年始にあたる12月29日（木）から1月3日（火）までは、家庭ごみの通常収集を行いません。

しかし、家庭から出るごみの量が増える時期であることから、燃えるごみについては、下表のとおり特別収集を行います。

特別収集は、地区ごとに収集日が異なるため、確認をお願いします。

また、年末年始におけるクリーンセンターの休業期間は次のとおりです。

▽休業期間 12月29日（木）～平成24年1月3日（火）

この期間以外は、通常どおり持ち込みができます（土日・祝日を除く）。分別について不明な点がある場合は、事前にお問い合わせください。

▽持込時間および問い合わせ先

- ・牛窓・邑久地域 クリーンセンターかもめ 午前9時～午後4時30分 ☎0869・34・3475
- ・長船地域 長船クリーンセンター 午前9時～午後2時 ☎0869・26・5219

■問い合わせ先 生活環境課

年末年始の地区別ごみ収集日程

| 地区名 | 日程 | 12月 | | | | 1月 | | | |
|------|------------------|---------|-----------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|
| | | 28 水 | 29 木 | 30 金 | 31 土 | 1 日 | 2 月 | 3 火 | 4 水 |
| 牛窓地域 | 牛窓地区 | 通常収集 | 燃えるごみ特別収集 | | | | | | 通常収集 |
| | 鹿忍地区・長浜地区 | | 燃えるごみ特別収集 | | | | | | |
| 邑久地域 | 燃えるごみを月・木に収集する地区 | | 燃えるごみ特別収集 | | | | | | |
| | 燃えるごみを火・金に収集する地区 | | 燃えるごみ特別収集 | | | | | | |
| 長船地域 | 燃えるごみを月・木に収集する地区 | | 燃えるごみ特別収集 | | | | | | |
| | 燃えるごみを火・金に収集する地区 | | 燃えるごみ特別収集 | | | | | | |

※通常収集の日程は、各家庭に配布している「ごみ収集日程表」をご覧ください。

ごみ減量速報

単位：グラム

| 地域 | 23年8～10月 | 22年8～10月 | 達成度 |
|----|----------|----------|-----|
| 牛窓 | 762 | 711 | × |
| 邑久 | 822 | 767 | × |
| 長船 | 661 | 640 | × |

※数値は、1人1日あたりのごみ排出量の3カ月平均値です。
※達成度は、減量率5%以上を◎、0～5%を○、減量できなかった場合を×で表しています。

あなたが主役！ごみダイエット瀬戸内

年末年始は1年の中でもごみの量が増える時期です。大掃除で雑誌やパンフレットなどをまとめて処分する人も多いのではないのでしょうか。しかし、こうした古紙を資源化すれば、ごみ袋を大幅に節約することができます。

今回の「ごみダイエット通信」（本紙に折り込みの緑色のチラシ）では、年末年始のごみ減量の方法を詳しく紹介しています。ぜひご覧ください。

安全通信



瀬戸内警察署：0869-34-6110
消防本部警防課：0869-22-1492
予防課：0869-22-1493

事件や事故のない年末年始を

警察安全情報

警察では、犯罪や事故の多発が予想される年末を迎えるにあたり、市民の皆さんが安全で安心な暮らしを送ることができるよう、街頭における警戒活動を強化するなど、犯罪や事故などの未然防止活動を積極的にを行い、主に次のことを呼びかけています。

【地域では】

子どもの見守りなどの自主防犯パトロール活動に取り組みなどして地域全体で防犯力を高めましょう。

【一人一人では】

「ひったくり防止ネット」の使用や「ワイヤー錠」による自転車のツーロックを確実にを行うなど、被害に遭わない

ための防犯対策をしましょう。また、犯罪の発生状況や具体的な防犯対策の情報をタイムリーに知ることは、犯罪被害を未然に防ぐ上で非常に役立ちます。

警察などから提供される防犯情報に積極的に目を向け、耳を傾けるとともに、自分だけでなく、家族、友人や知人へ積極的に教えることも大切

【防犯ボランティア活動】

防犯ボランティア活動に積極的にご参加ください。

世代を超えて地域の絆を深め、「自分たちのまちは、自分たちで守る」といった強い気持ちを持共有しましょう。

【交通事故防止】

・ゆとりと譲り合いの運転
年末年始は、いつも以上に交通量が多くなり、車を運転していても気持ちのゆとりを失いがちで、交通事故の多発が懸念されます。焦らず、急がず、ゆっくると、譲り合いの気持ちを忘れずに、安全運転を心掛けましょう。

・飲酒運転の絶対禁止

飲酒運転は被害者の「大切な命」だけでなく、「社会的地位」「お金（賠償金）」「自分自身の家族」などたくさんものを失います。

年末年始は、お酒を飲む機会が多くなりますが、「飲酒運転は絶対にしない、させない」を徹底し、飲酒運転を根絶しましょう。

・目立つことが大事

反射材を着用するとドライバリーにあなたの存在がはっきり確認され、大きな効果を発揮します。夕方・夜間に外出するとき、明るい服装を心掛け、反射材を必ず身に付けることを

習慣付けましょう。

■問い合わせ先

瀬戸内警察署

大切な家族を火災から守る 住宅用火災警報器の設置

あなたの家には住宅用火災警報器を設置していますか。住宅用火災警報器は、火災発見の遅れによる死者や負傷者の減少、更に早期発見による初期消火に最も有効な機器です。

今回は、住宅用火災警報器の奏功事例を紹介します。

【就寝中の居住者が警報音で目覚めた事例】

2階寝室で就寝している居住者が、住宅用火災警報器の警報音で目を覚ました。1階のこたつ付近で炎があ

がっていたが消火器で消火を行った。

【高齢者が助かった事例】

一人暮らしの高齢者が、味噌汁を温めようと、鍋を火にかけたままその場を離れてしまったため、鍋が空焚きとなり出火した。住宅用火災警報器の警報音に気付き、消火することができた。

【隣人などが警報音に気づいた事例】

犬の散歩中、近所から住宅用火災警報器の警報音が鳴っていることに気付き、目を向けると黒煙があがっていた。消防署へ119番通報を行い、玄関にいた足の不自由な家人を介助しながら避難させることができた。

【火遊びなどにおける事例】

幼い兄弟が、押入れの中で火遊びをしていて出火した。別室にいた母親が住宅用火災警報器の警報音に気付き、消火することができた。また、幼い兄弟も無事であった。

■問い合わせ先 消防本部予防課



岡山県マスコットももっち